

夏休みを前に

七月下旬から市内の諸学校は夏休みになります。四十日ほどの長い休みとなります。

今回は、とくにしぼって夏休みと勉強(宿題)について一緒に考えましょう。

最近では、都会などでは夏休みも終わりに近くなると、デパートなどで宿題コーナーを特設することがあります。親にとつても夏休みの終わるころは、頭のいたい時期です。なかには、親子でデパートにかけつけたり、ねじりはしまでギリギリ間に合わせたりといふ話もあります。

夏休みの勉強や宿題を受け取つて見る教師の側からすると、夏休みの最後の奮闘ぶりはわかるのですが、デパートで買った貝や虫、最後の夜に仕上げた写生などはあまり感動しません。

夏休みの勉強や宿題は、作品としてできあがったものに、「値打ち」があるのではなく、その勉強や宿題を作品として仕上げていく過程で、子どもがどれだけ自然を観察したり、どれだけ思考したり、どれだけ工夫したり努力したりしたかに「値打ち」があるのであります。そういう理屈はわかついても現実にできあがっていなかつたりやりきつていなかつたりすると、つい子どもをしかりつけ、手を出します。

したくなるのが親の気持ちだらうと思います。そうして親子で奮闘してやつと仕上げても、親子ともども「また今年もだめだった」という暗い気持ちで夏休みを終わることになります。

ところで、わたしたち大人はどうだったでしょうか。

やっぱり今の子どもたちと同じように夏休みの終わるころにあわてて勉強や宿題を仕上げた経験が多いと思います。

長い四十日の夏休みを計画どおり過ぎしし、勉強や宿題の作



品が予定どおりキチンとできあがつているとすれば、そのほうがむしろ、「異常」といっていいでしょう。

夏休みの終わりになると勉強や宿題がまだのこっているとしたら、できるだけ子どもの力で、そしてできるところまで子どもの力でやらせることを大切にして欲しいと思います。

なぜかというと、夏休みは一回だけで、終わるのではなく、また来年もやって来るからです。今年の夏休みの反省を来年に生かしていくことが、その後の子どもの成長にとってとても大切なことなのです。

子どもを必要以上にしかりつけたり、力がないときめつけたりしてしまってはせっかくの夏休みがつまらないものになってしまいます。このように考えてみると、夏休みをどのようにすごさせるか、という計画の段階が大切になってきます。

「よし、こうやるぞ」という決意を固めるように援助してやること、それがやりきれるかどうかが問題ではなく、そのための努力が大切なのです。

夏休みの勉強や宿題のために新学期のスタートにあたって、子どもに挫折感や無力感が残るようなことがあってはならないと思います。

夏休みの終わりになると、子どもを孤独に追いやらないための努力を忘れない

○社会のルールを守るしつけをする
○過保護に育てない
○子どもの欲求に耳を傾けることは

よいが、限度を考える

○社会人が連携して、健全な環境づくりに努める

○子どもを孤独に追いやらないための努力を忘れない

○社会を明るくする運動

すすべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

「社会を明るくする運動」は、

夏休みは勉強と宿題だけで終わるわけではありません。家の手伝いのことや生活のことなどいろいろあります。ふだん出来ない、いろいろな経験を山ほどやつですが、新しい二学期へのスタートがでかけるように、親としての指導や援助を子どもは期待しているのです。

すばらしい今年の夏休みをつくり出してください。

青少年を非行から守る 全国強調月間

ふれあいと
対話が築く

明るい社会

社会を明るくする運動

ふるさと納涼祭

市民の皆さんのふるさと意識の高揚を目的として、ふるさと納涼祭を実施します。また、練習も行っていますので、ご参加をお待ちしています。

主 催 都留市商工会青年部

日 程 8月14日(土)・15日(日)
午後7時30分～9時30分

場 所 市役所駐車場

練習日 7月13日・20日・27日
8月10日(総練習)

※文化会館で午後7時～9時まで練習をします。

市役所駐車場ご利用の皆さんにお願い

8月14日・15日の両日は市役所駐車場はご利用できません。谷村信用組合・山梨中央銀行のご厚意により駐車場をお借りしましたので、そちらをご利用ください。

都留市青少年総合対策本部
市教育委員会

期 間 7月1日～31日
主 唱 法務省

都留市実施委員会
“社会を明るくする運動”